



新規ビジネスドクトリン

令和6年3月24日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

全ての生産、営業、顧客、消費者、部品、製品データの管理は、生産と流通、小売におけるビッグデータにおける管理と企業経営を実現するものである。

またインダストリー4.0の受け入れは、生産や品質管理の機械化と自動化において、より優れた品質や生産性における企業経営の確立を実現する。

これらは企業経営の基幹インフラが、ITシステムと自動生産へ移行することであり、全てのデータのデジタル化と管理体制は、より優れた効率性の実現を与えるものである。

これら企業経営のデジタル化は、ITにおける企業経営と生産システムの構築において遥かに優れた企業効率性における企業経営への転換を行うものである。

これらは次世代という新しい技術システム基準における企業製品の構築とともに、グローバル市場における自己ビジネスの標準化を行うものである。

これらは既存手工業における企業システムの完全な崩壊であり、今日におけるグローバルスタンダードにおける新しい現実なのである。

これら変化は新しい可能性の実現を自己に有するのである。これら現実が創造に勝る遥かに優れた効率性やシステム、生産性を有するからである。

また企業経営は必ずMBAシステムに準じ自己を要求されるものである。これら企業の考査が、より優れた自己を与えるのである。

経済は資本主義と自由経済システムをルールとすることを理解することは、経済への正しい理解なのである。

これら競争原理は資本という現実とともに、企業経営への正しい選択を要求するのである。この現実の進歩は今日、革命的な変化を経済に有することを理解すべきである。これらはコンピューターエイジという新しい現実なのである。

